

特定外来生物「ツマアカスズメバチ」の巣を福岡県内で発見

発表のポイント

- ① 「ツマアカスズメバチ」は危険な外来種として特定外来生物に指定されていますが、本年になり福岡県内で女王蜂や働き蜂が相次いで発見されていました。一方、巣は未確認の状態です。このままでは「ツマアカスズメバチ」の定着を許してしまう可能性があります。
- ② 「ツマアカスズメバチ」の定着阻止のため、分布や営巣状況調査を実施した結果、本種の拡散状況をより詳細に把握すると同時に、本種の巣をついに発見するにいたりました。
- ③ 本調査結果は、「ツマアカスズメバチ」の定着阻止に貢献する成果となります。

概要

九州大学大学院農学研究院生物的防除研究施設の上野高敏准教授は、特定外来生物「ツマアカスズメバチ」の福岡県内における分布と営巣状況に関する調査を、環境省九州地方環境事務所と情報共有しながら実施してきました。その結果、福岡市、久山町、篠栗町においてツマアカスズメバチの働き蜂を再確認すると同時に、営巣場所の絞り込みを行った結果、本種の巣を1つ発見するに至りました。

「ツマアカスズメバチ」は九州北部地方に完全定着する一歩手前の段階にあると判断されますが、巣の発見と駆除は危急の課題であり、今回の巣の発見は定着阻止に向けて一歩前進できたこととなります。巣の駆除が定着阻止のカギとなりますので、今後も調査を継続し、残る巣の発見に全力を尽くします。また、関連する行政機関とも連携し、ツマアカスズメバチを根絶すべく行動していきます。なお、今回発見した巣は九州地方環境事務所により駆除作業が行われる予定です。



(1)福岡市で再確認されたツマアカスズメバチの働き蜂（休息中の個体）



(2)福岡市産のツマアカスズメバチ (標本化済み)



(3)発見したツマアカスズメバチの巣
(左画像は樹上での営巣状況、上画像は巣の拡大図)

【研究の背景と経緯】

「ツマアカスズメバチ」は、人への刺傷被害を引き起こすだけでなく、生態系と養蜂への悪影響を及ぼす可能性があるため、外来生物法に基づき特定外来生物に指定されています。元々は中国南部原産のスズメバチですが、韓国やヨーロッパに侵入し外来種として問題となっています。日本においては2013年に長崎県の対馬で初めて確認されましたが、同島ではそれ以降、完全定着しています。また北九州市、宮崎県日南市、長崎県壱岐、大分市、山口県防府市でも相次いで発見されましたが、いずれも巣が駆除され、かろうじて本土への定着は未然に防止されていました。

ところが、今年の4月以降、福岡市と久山町で「ツマアカスズメバチ」の女王蜂が相次いで発見されたのに続き、九州大学の調査においても福岡市、久山町、篠栗町において8月以降、多数の働き蜂が確認されており、「ツマアカスズメバチ」が福岡県に定着する一歩手前の段階にあることが明らかとなりました。[\(2022年8月19日プレスリリース\)](#) 正確な本種拡散状況の把握とともに、巣の発見と駆除が危急の課題となっています。このため、九州大学は環境省九州地方環境事務所と共同しながら、本種の分布に関する情報を更新しつつ、巣の探索を行ってきました。

【研究の内容と成果】

上野准教授は、本年の5月以降、福岡県下における「ツマアカスズメバチ」の定着状況に関する調査を継続して行ってきましたが、9月以降に、福岡市、久山町、篠栗町において「ツマアカスズメバチ」の働き蜂を確認しました。さらに環境省九州地方環境事務所と分布に関する情報※を共有し、より正確な生息状況の把握に努めてきました。また巣の探索も精力的に実施してきました。

確認地点の情報に加え、発見個体や捕獲個体の追尾も行い、営巣場所の推定を行った結果、「ツマアカスズメバチ」の巣は県内に確実に複数存在することが明らかになり、そのうちの巣を1つ発見するに至りました。

※環境省九州地方環境事務所から出された報道発表資料（令和4年10月3日発表）もご参照ください。

【今後の展開】

「ツマアカスズメバチ」の巣を発見し徹底的に駆除していかなければ、数年内に九州北部の広い地域へと一気に本種が拡散していく恐れがあります。そして、九州本土への定着に続いて、本州へ分布を拡大していくでしょう。今後も、次世代の新女王が巣から放出される時期（11月以降）が来る前に残りの巣を見つけ出し駆除していく必要があります。また、県内におけるツマアカスズメバチの分布調査を継続し、他にも巣が存在するか確認しなければなりません。この秋が、本種の定着を許してしまうかどうかのターニングポイントになるからです。

環境省九州地方環境事務所と共同しながら、「ツマアカスズメバチ」の定着阻止に向け、調査活動を継続していく所存です。また、発見した巣は九州地方環境事務所により駆除作業が実施される予定です。

【お問合せ先】

九州大学大学院農学研究院 准教授 上野高敏（ウエノタカトシ）

TEL：092-802-4579

Mail：ueno@grt.kyushu-u.ac.jp

※調査のため電話が通じにくくなっておりますので、お問い合わせはなるべくメールにてお願い
します。

参照サイト：<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/ine/ueno/index.html>

（上野准教授によるツマアカスズメバチを含むスズメバチ類に関する情報を掲載）

データ提供：報道向けの画像および動画を希望する方はメールにてご連絡ください。